

令和4年度の重点課題

○男子

・「立ち幅跳び」の記録が、県平均かつ全国平均値より低い学年が2学年ある。
 ・1年生は「上体起こし」「長座体前屈」においては、県平均かつ全国平均値より高い結果であるが、その他の項目については県平均かつ全国平均値より低い。

○女子

・「握力」の記録が、県平均かつ全国平均値より低い学年が2学年ある。
 ・運動やスポーツをすることが嫌いだと答える生徒の割合が14.29%である。

○全体

・1日の活動時間が30分未満の生徒が男子14%、女子23%である。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

(体育の授業)

○複数の体力の要素を向上させることを目的としたサーキットトレーニングを行った。
 ○体育の授業の導入で補強運動(ジャンプスクワットやバーピージャンプ、グーパー運動やボールを握る運動)を取り入れる。
 ○「ボール投げ」→投球フォームに課題があるため、腕の振りや足の運び方、重心の移動体のひねりなどICT機器を利用し、確認する。(球技: ベースボール型 ソフトボール)

(体育の授業以外で行う取組)

○部活動の時間を活用し、筋力や全身持久力、瞬発力等、自己の運動課題を解決するための運動行う。
 ○2回目の新体力テストを実施する。自分の体力の課題や成果を確認し、運動能力向上に向けて授業や部活動に取り組む。

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

| 男子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 持久走 | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 | 女子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 持久走 | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 |
|------|-------|-------|-------|-------|-----------|-----|------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-----------|-----|------|--------|-------|-------|
| 第2学年 | 27.00 | 28.25 | 51.13 | 48.33 | 81.87 | | 7.58 | 201.56 | 20.40 | 46.62 | 第2学年 | 25.90 | 25.90 | 51.50 | 49.30 | 53.30 | | 8.68 | 172.70 | 14.50 | 53.40 |

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

| 男子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 持久走 | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 | 女子 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 持久走 | 50m走 | 立ち幅とび | ボール投げ | 体力合計点 |
|------|-------|-------|-------|-------|-----------|-----|------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-----------|-----|------|--------|-------|-------|
| 第2学年 | 27.00 | 28.25 | 51.13 | 48.33 | 81.87 | | 7.58 | 201.56 | 20.40 | 46.62 | 第2学年 | 25.90 | 25.90 | 51.50 | 49.30 | 53.30 | | 8.68 | 172.70 | 14.50 | 53.40 |

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

| 男子 | 好き | やや好き | やや嫌い | 嫌い | 女子 | 好き | やや好き | やや嫌い | 嫌い |
|------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|------|------|
| 第2学年 | 81.25 | 18.75 | 0.00 | 0.00 | 第2学年 | 80.00 | 20.00 | 0.00 | 0.00 |

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○複数の体力の要素を向上させることを目的としたサーキットトレーニングを行う。
 ○「握力」→体育の授業の導入で補強運動(グーパー運動やボールを握る運動)を取り入れる。
 ○「反復横跳び」→体育の授業の導入で補強運動(体感トレーニングやスクワット)を取り入れる。
 ○「20mシャトルラン」→陸上競技の長距離走等で呼吸法やペース配分を身に付ける。
 ○「立ち幅跳び」→体育の授業の導入で補強運動(ジャンプスクワットやバーピージャンプ)を取り入れる。

体育の授業以外で行う取組内容

○部活動の時間に筋力や全身持久力、瞬発力等、自己の運動課題を解決するための運動行う。
 ○長期休業中の課題として、体づくり運動のアプリを活用し、自分で計画を立て、取り組む。
 ○2回目の新体力テストを実施する。自分の体力の課題や成果を確認し、運動能力向上に向けて授業や部活動で取り組む。
 ○講師を招聘し、実技(短距離走)を通して、正しく走るポイントをアドバイスしてもらいながら、記録更新や目標をもって取り組む態度を育成する。

重点課題

○男子

・「握力」「反復横跳び」「ボール投げ」の記録が、県平均値(令和5年度)かつ全国平均値(令和4年度)を下回っている。

○女子

・「20mシャトルラン」「立ち幅跳び」の記録が、県平均値(令和5年度)かつ全国平均値(令和4年度)を下回っている。

○全体

・体力に自信があると答えた生徒の割合が、男子30%、女子17%であった。
 ・1日のテレビ等の視聴時間が2時間以上の生徒の割合が60%であった。

令和6年度の重点目標値

○さまざまな運動実践を通して、体力に自信があると答える生徒の割合を男女とも30%以上を目指す。
 ○すべての種目において、全国平均値以上を目指す。
 ○どの項目も前回の学年平均値を上回るようにする。(年度末に再度測定する。)